

## 平成25年度「空の日」・「空の旬間」事業

### －大内田氏航空功績賞を受賞－

国土交通省が主催する「空の日」・「空の旬間」事業は、毎年各種行事を展開しているが、この中で、我が国の航空の発展に尽力した航空功労者に対して、国土交通大臣及び（一財）日本航空協会会長より表彰状が授与される。

当工業会は、（一財）日本航空協会の「航空関係者の表彰」推薦団体となっており、会員企業から表彰候補者を推薦した結果、日本航空協会より「航空功績賞」受賞の通知を受けた。以下に、「空の日」・「空の旬間」関連事業の概要も含めて紹介する。

#### 1. 日本航空協会表彰

- 航空功績賞（航空に関する文化、科学技術および事業等の発展に著しく寄与された方またはグループに贈られる賞）



大内田 敏昭氏  
元川崎重工業(株)専務取締役

#### (1) 大内田 敏昭氏の功績の概要

- 1) 航空機に関する科学技術の発展における功績

氏はC-1輸送機、短距離離着陸機（STOL）飛鳥、T-4中等練習機等の航空機技術開発に従事するとともに、岐阜工場長、航空宇宙事業本部長などを歴任し、ボーイング

777開発・製造、次期哨戒機（P-X）・次期輸送機（C-X）の2機種同時開発事業を率いて、我が国の航空機開発・製造技術の発展に貢献した。

C-1輸送機開発では機体装備設計を担当し、サーボモーター補助型のエルロン操舵システムを開発<sup>(\*)</sup>した。また、STOL飛鳥

開発ではC-1をベースにSTOL性能実現に向けたUSB（Upper Surface Blowing）方式が採用され、その主翼上面搭載エンジンとともに主要構成部品である高揚力フラップの設計を行った。T-4中等練習機開発では構造班長、設計総括班長として開発作業に参画し、更に設計室長として量産設計計画を取りまとめた。これらの成果は我が国における航空機設計・開発の礎となり、その後の航空機開発に活かされている。

ボーイング777開発では、岐阜工場長として効率生産のために指揮下の名古屋第一工場での組立作業に「カワサキ・プロダクション・システム（KPS）」<sup>(\*)2</sup>を導入するなど量産本格化に向けて生産体制を構築した。KPSは、BK117ヘリコプター<sup>(\*)3</sup>や最新のボーイング787の製造においても活かされているとともに、国内外からも視察希望があるなど注目を集め我が国における航空機生産技術の発展に寄与している。

P-XおよびC-Xの2機種同時開発では、C-1以来約40年ぶりの大型機国産開発プロジェクトに対し、航空宇宙事業本部長としてリーダーシップを発揮。世界にも例のない大型機の2機種同時開発実現の礎を築いた。また、これらの航空機開発成果の民間転用に関する検討も進められており、我が国航空機開発・製造技術の発展に貢献した。

(\*)1 特許登録名称『航空機の操縦力軽減装置』、登録番号『P1034379』

(\*)2 顧客が必要とする物を、必要な品質で、必要な時に、必要なだけ生産することを基本理念とし、生産現場での人、物、設備に関わるムダを徹底的に排除することに努め、人間性の尊重を基盤として、人の能力をフルに活用しようとする仕組みであり、飛躍的に生産効率を高めるための画期的な生産方式。

(\*)3 川崎重工業（KHI）と欧州のヘリコプターメーカーECD社（ユーロコプタードイツ社）〔旧MBB社（メッサーシュミット・ベルコウ・ブrouム社）〕が共同開発したヘリコプターで、物資・

人員輸送、消防・防災、警察、ドクターヘリ、報道など多用途に活用される中型双発機。国産ヘリコプターとして1983年の初号機納入以来改良を重ね、優れた技術力と高い信頼性により、KHI納入分（2013年2月20日現在）で158機、ECD社納入分を合わせると全世界で1,000機以上の納入を誇るベストセラー機。

## 2) 我が国の航空宇宙産業発展および学術活動における功績

氏は、日本航空機開発協会（JADC）理事、日本航空宇宙工業会（SJAC）業務委員長および組織委員長、民間航空機株式会社（CAC）取締役社長を務めるなど、事業運営および各種団体の活動を通じて我が国の航空宇宙産業発展に貢献した。また、日本航空宇宙学会等で各種委員会の委員長を務めるなど、我が国の航空機に関連する学術活動にも貢献した。

## (2) 表彰式

日時／場所：平成25年9月20日

於：航空会館

## 2. 国土交通省「空の日」・「空の旬間」事業概要

### (1) 中学生派遣事業：

海外：7月30日～8月4日 シアトル ボーイング・エベレット工場、ANAペーカーズフィールド乗員訓練所見学、現地中学生との交流により国際的な視野の育成をはかる。

### (2) 空の日記念式典：

第61回「空の日」航空関係功労者国土交通省大臣表彰式

9月20日予定 於国土交通省 共用大会議室

### (3) 絵画コンテストの支援：

「FAIヤング・アーティスト・コンテスト

(主催：FAI (国際航空連盟))」の国内予選である「青少年航空宇宙絵画コンテスト」の費用の一部を支援する。

(4) 広報活動：

ポスター、ホームページ、グッズ等製作し、空の日のPRを行う。

(5) 地方イベントへの支援：

全国の空港等で開催される空の日イベントに対して事業費の一部を支援する。

(6) 啓蒙事業（航空教室）の支援：

①若手育成機会拡大から協賛団体等が行う青少年を対象とする航空教室等の事業費の一部を支援する。

予定事業：青少年航空教室、航空教室、航空スポーツ教室

(事業経費の1/2以下、且つ1団体上限20万円。)

②航空スポーツ分野の安全に関する講演会、講習会等の取り組みに対して事業費支援を行う。(支援額は1団体あたり上限5万円)

〔(一社)日本航空宇宙工業会 広報部長 岡田 孝一〕